

視聴無料

歯科衛生士×歯科医師スキルアップWEBセミナー2025

歯周組織再生療法を含む歯周治療成功に向けて

開催方式: ZOOMウェビナーによるWeb開催

参加費: 無料

参加方法: 事前登録制(下記のURLまたはQRコードよりお申込みください。)

座長: 株式会社 DH Pro. School 代表 山崎 瑞穂 先生



※各回それぞれ視聴登録が必要です

第1回 2025年8月2日(土) 19:30～21:00

「歯周組織再生療法の術前における歯科医師と歯科衛生士の連携」

演者: なりた歯科・矯正歯科 院長

成田 大輔 先生

演者: 医療法人 塩見会 しおみ歯科クリニック

堀 めぐみ 先生



参加登録: https://kaken.zoom.us/webinar/register/WN_fAJ9uWTITy-YfIFVZWvQIQ

短縮: <https://x.gd/o45if>

第2回 2025年11月26日(水) 19:30～ 21:00

「チームで取り組む歯周組織再生療法の実際」

演者: 大川歯科医院 院長

大川 敏生 先生

演者: 大川歯科医院

由良 典子 先生



参加登録: https://kaken.zoom.us/webinar/register/WN_NY-HFHxZTz6Z-A-BJg8Rnw

短縮: <https://x.gd/0615Z>

第3回 2026年2月25日(水) 19:30～ 21:00

「歯周組織再生療法の長期的な安定の鍵はSPT
～術後管理における歯科医師と歯科衛生士の連携の重要性について」

演者: 医療法人社団さくらデンタルクリニック 理事長 岩田 光弘 先生

演者: 医療法人社団さくらデンタルクリニック 中村 みさと 先生



参加登録: https://kaken.zoom.us/webinar/register/WN_b8QUYy42Q3KU9M08Klc91w

短縮: <https://x.gd/Q5xMC>

ご記入／ご入力いただいた個人情報は、「科研製薬の個人情報保護に関する取組み(<https://www.kaken.co.jp/privacy/>)」に従い、取り扱います。内容をご確認いただき、同意のうえ、ご登録ください。

主催: 科研製薬株式会社

歯科衛生士×歯科医師スキルアップWEBセミナー開催にあたって

歯周治療の中心は、「炎症のコントロール」にあります。
その第一歩となるのは、患者自身によるプラークコントロール、そして歯科衛生士によるSRPIによる炎症の抑制です。
歯周炎の進行を防ぐうえで、歯周基本治療はすべての症例に共通する「治療の土台」です。しかし一度失われた歯周組織の再生は容易ではなく、深い歯周ポケットが残存する症例ではセルフケアが困難になり、再発のリスクも高まります。
近年では、リグロス®（塩基性線維芽細胞増殖因子製剤）の登場により、歯周組織再生療法がより日常臨床で実施しやすくなってきました。
それに伴い、私たち歯科衛生士にも、歯周基本治療後の経過を的確に観察し、残存する炎症やポケットの状態を歯科医師と共有しながら、再生療法へとつなげていく役割がますます求められています。

- < 歯周治療の成功のカギとなる4つの要素 >
- ① 歯科医師による術前の的確な診査・診断
 - ② 再生療法の適応症を正しく見極める判断力
 - ③ 精度の高いSRPの実施
 - ④ 患者さんのモチベーションを維持する支援力

これらすべてを確実に機能させるためには、歯科衛生士と歯科医師が継続的に関与し、連携しながら取り組む「チーム医療」の実践が不可欠です。
そこで2025年度は、チーム医療の実践をテーマに、「歯科衛生士×歯科医師スキルアップWEBセミナー（全3回シリーズ）」を開催する運びとなりました。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。
皆さまと学びを共有できることを、心より楽しみにしております。

株式会社 DH Pro.School 代表 山崎 瑞穂

< 問い合わせ先 > 科研製薬株式会社 リグロス事務局
e-mail: hiroshima_dent@kaken.co.jp

Drug Information

●詳細は電子化された添付文書をご参照ください。電子化された添付文書の改訂に十分ご留意ください。

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）
- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
 - 2.2 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]
4. 効能又は効果
歯周炎による歯槽骨の欠損
5. 効能又は効果に関連する注意
- 5.1 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
 - 5.2 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。
 - 5.3 術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。
6. 用法及び用量
歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。
7. 用法及び用量に関連する注意
本剤の使用にあたっては[17.臨床成績]の項を参照し適切な量を用いること。[17.1.2 参照]
8. 重要な基本的注意
本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意
- 9.5 妊婦
妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
 - 9.7 小児等
小児等を対象とした臨床試験は実施していない。
11. 副作用
次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
- 11.2 その他の副作用

	1%以上	1%未満	頻度不明
適用部位および適用部位近傍			歯肉白色化、歯肉紅斑、腫脹、硬結、肥厚
精神神経系			頭痛
臨床検査	尿中アルブミン陽性、尿中NAG上昇、尿中β ₂ ミクログロブリン上昇	AST上昇、CRP上昇、ビリルビン上昇、CK上昇、ALT上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、総蛋白上昇	単球増多、白血球減少



歯周組織再生剤
トラフェルミン（遺伝子組換え）製剤

リグロス® 歯科用液キット 600 μ g/1200 μ g
REGROTH Dental Kit 600 μ g/1200 μ g

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

製造販売元
〔文献請求先及び
問い合わせ先〕



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込二丁目28番8号
医薬品情報サービス室

2024年10月改訂（第3版、再審査結果）